



analytica China

NOVEMBER 16-18 | 2020



Messe München

## ファイナルレポート

第 10 回 国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー専門見本市

2020 年 11 月 16 日～18 日

中国・上海新国際見本市会場

2020 年 11 月 23 日

## analytica China 2020 明るい未来を示し、成功裏に終了

### Summary

- 出展社数・展示規模とも過去最高を記録
- 1,000 件を超える新製品の出展で今後の傾向を示唆
- スマートラボに関する 2 つの新しい展示エリアが初登場



### Facts & Data

会 期	2020 年 11 月 16 日(月)～18 日(水)	9 時～17 時 (最終日のみ 16 時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場 (SNIEC)	
主 催	Messe München GmbH - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. - メッセ・ミュンヘン 上海	
規 模	6 ホール 60,000 m <sup>2</sup> (2018 年度 46,000 m <sup>2</sup> )	
出 展 社 数	1,009 社 (2018 年度 26 ヶ国から 950 社)	
来 場 者 数	23,652 人 (2018 年度 30,852 人)	
専 門 分 野	分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術	
主な出展製品	分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィ・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー、環境保護機器・技術、食品衛生機器・技術	
出展日系企業 (現地支社・代理店 出 展 含 む )	アズワン(株)、(株)アタゴ、(株)キーエンス、京都電子工業(株)、サンヨーファイン(株)、ジーエルサイエンス(株)、(株)島津製作所、(株)写真化学、昭和電工(株)、東京理化学器械(株)、東ソー(株)、日本電子(株)、(社)日本分析機器工業会、浜松ホトニス(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、PHC ホールディングス(株)、富士フイルム(株)、フロンティア・ラボ(株)、ホソカワミクロン(株)、(株)堀場製作所、ヤマト科学(株)、(株)ワイエムシィ 他 (50 音順)	
専 用 U R L	<a href="http://www.analyticachina.com">www.analyticachina.com</a> (英語) <a href="http://www.analyticachina.com.cn">www.analyticachina.com.cn</a> (中国語)	

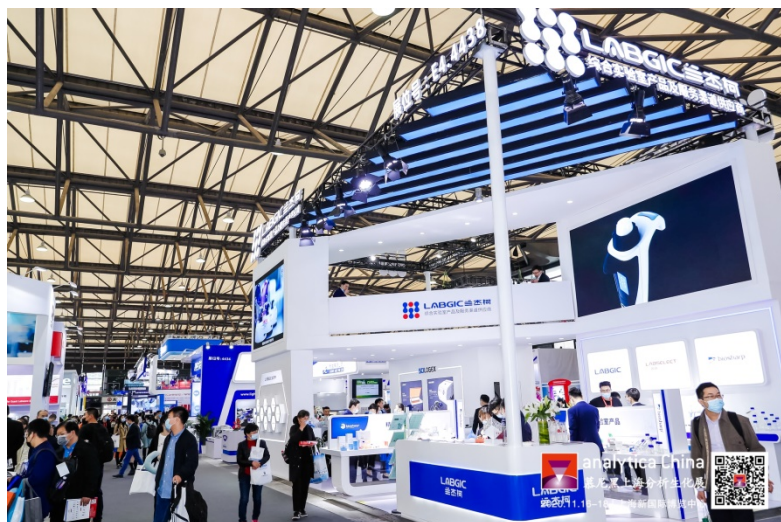
2020年11月16日から18日まで中国・上海で開催された analytica China 2020 には、過去最多の1,009社(前回2018年:950社)が出展、23,652人の業界関係者が来場し、成功裏に幕を下ろした。展示規模は過去最大の6ホールによる60,000㎡(前回2018年:46,000㎡)で、会場内には、1,000点以上の、新製品や最新設備、革新技术、そして最先端のソリューションが集結した。今回の見どころの一つに、2,000㎡ものスペースを占有したライブラボとクリニカルラボがあり、多くの注目を集めた。また、専門性の高い講義やセミナーでは、業界注目のトピックスが掘り下げられ、様々な分野から延べ3,447人が聴講した。

主催メッセ・ミュンヘン副社長のラインハルト・ファイファーは、「analytica Chinaの成功は、コロナ渦中に明るい未来を見出したといえる。危機と機会の重要な分岐点に立つ今、analytica Chinaは、革新的製品や最先端技術に関する中国や世界各国の今後の開発動向に着目して、これまでにない重要なビジネスの場を提供することができた。このような困難な状況下での見本市の成功は、業界全体に大きな希望を与えた」と述べた。

またメッセ・ミュンヘン上海の最高執行責任者であるスティーブン・ルーは、「今回の analytica China は新たな記録を生み出した。まず、出展社数が過去最多を記録。そして、出展対象範囲を拡大し、各種業界や専門機関の協力を得て、業界全体にとって Win-win となるような体制を整えた」と成果について語った。

analytica China は、中国市場に参入して今年19年目を迎え、今回第10回の開催となった。今では、中国国外の多くの企業が、新製品や新技術の発表の場として analytica China を選び、業界の持続的発展のための重要なプラットフォームと位置づけている。

Merck Life Sciences China 社のマネージング・ダイレクター Steve Vermant 氏は、「analytica China は当社にとって非常に重要な見本市であり、2年に1回ここで多くの顧客と会っている。新製品の紹介に限らず、ラボや検査機器に関連する幅広い分野から多くのことを学ぶことができる貴重な機会であり、毎回



楽しみにしている。2020年は非常に困難な年になったが、会場内の活動状況を見れば、出展社も来場者もこの業界に対して強い期待を寄せていることが分かる」と述べた。

また、Illumina (Greater China)社のマーケティング・ダイレクター Biao Wang 氏は、「様々な業界の方々から学び、また情報を得ることができるため、analytica China は当社にとって有益なビジネスの場となっている。コロナ渦中にもかかわらず多くの来場者があり、有意義な商談ができて非常に貴重な機会であった」と語った。

### リーマン・マネジメントとデジタル化向けのホールを追加

従来の出展分野である、ライフサイエンス、診断とバイオテクノロジー、分析、品質管理、ラボ機器、ラボ建設と安全、食品衛生機器・技術、環境保護機器・技術に加え、今回初めて2つの新しい分野として、ラボの自動化・情報化エリアとコアラボの機器・部品エリアを設け、革新的なラボ関連製品とR&Dの技術的なソリューションを一堂に集め、スマートラボの実現への道筋を紹介した

### ライブラボ:テーマは「未来のラボ計画と建設」

今回、ライブラボは analytica China 2020 の会場内で、2,000㎡ものスペースを占めた。WALDNER 社、Suzhou Daxpro 社および Shanghai UFU 社は、様々なユーザーニーズを考慮し、高度な設計コンセプトに基づいて、750平方メートルのライフサイエンスラボを会場内に設置した。今回のラボは、3つのテーマ「スマートQC」「革新的な医薬品開発(CAR-T)」「および生化学試験」で、特定の業界を対象に設置され

た。Wuhan Kebei Technology 社は、P3 および P4 ラボの建設に長年携わってきた経験を活かして、高レベルのバイオセーフティラボを構築し、P3 ラボの建設と運用についての講演を行った。Shanghai Hanguan 社は、実際のアプリケーションシナリオを見ることができる最新の 5G によるスマートライブラボを紹介した。ライブラボエリアは、オフラインシミュレーションラボとオンラインデモンストレーションの 2 つのセクションに分かれており、実際のラボとして設置されたフレキシブルラボでは、将来のラボの姿を直接見ることができた。

また、オンライン見本市には、インテリジェント管理プラットフォームとクラウド VR・バーチャルラボの 2 つのプラットフォームが設置され、「Labflex により業界の変革と向上を支援」をテーマに Shanghi Nori 社はハイテク・ラボを設置し、最も厳しい北欧の基準に沿って製造された、スタイリッシュで人間工学に基づく安全でモジュール式のヒュームフードとラボベンチを初公開した。

### Covid-19 の臨床検査

ライフサイエンスおよび臨床診断業界のユーザーから正確で効果的なソリューションを提供するために、analytica China 2020 は、ホール E7 に 600 平方メートルを超える特別な臨床検査室を設置した。カバーされる主要なテーマは、臨床腫瘍治療と形質転換、Covid-19 の臨床診断と研究、および新薬とワクチンの開発の 3 題。MGI 社、Roche Diagnostics 社、Bio-Rad 社、PerkinElmer 社、QIAGEN 社、Illumina 社などの出展企業が、ライフサイエンスと診断における最先端のソリューションを実証する革新的な製品と技術を紹介した。また、「Illumina 2 Gen Sequencing Space」、「Huoyan Air Dome Laboratory」、「Mobile Cabin Biosafety Laboratory」、「Integrated Nucleic Acid Testing Laboratory」、「Cruise Monitoring Vehicle」、「Container Plant Factory」などの特別エリアが設けられ、関心を集めた。

### 専門性の高い会議プログラム

analytica China では、展示と併せて、ラボの最先端開発、新しいライフサイエンス技術、臨床診断、食品安全、環境モニタリングとテスト、化学と化学工学、および生物医学について、およそ 200 本の学術講演が行われた。多くの著名な専門家や研究者が登壇し、3,447 名が聴講した。これらの会議プログラムは厳格な感染予防対策のもとで開催され、講演中は常時、入場者全員がそれぞれ一定の距離を保って座り、マスクの着用が義務付けられた。

当プログラム中の一つ labtech China Congress 2020 では、中国におけるラボの企画から建設、管理、サービスにわたる全体的な計画推進に大きく貢献するもので、人とラボとの調和のとれた関係に着目し、ラボの安全性、インテリジェンス、持続可能な開発を促進するものとなった。この会議では、75 人もの専門家が講演を行い、1,723 人が聴講した。

次回 analytica China 2022 は、2022 年 11 月 14 日から 16 日まで中国・新上海国際見本市会場 (SNIEC) で開催される。

資料請求、各種お問い合わせ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)